

第3回 市民アイデア会議 将来都市像・基本目標案

令和4年6月

1 将来都市像案

案1 豊かな自然と支え合いで安心して産み育てられる 日本一子育てしやすいまち【子育て】

→豊かな自然、地域の支え合い、充実した遊び場、スキー文化の伝承、クリエイティブな活動の支援など、子育てや仕事を応援する環境があり、子育てにやさしいまちづくりを推進することを通じて、誰もが生き生きと暮らせるまち

【主な関連キーワード】

- ・子育てしやすい環境
- ・クリエイティブな里山、アート
- ・集える場づくり
- ・スキー文化の発展
- ・若い人を主役に
- ・楽しい関係（関係人口）で地域をクリエイト

案2 八節季の暮らしを愉しめるまち ～100年後も美しい飯山であり続ける～【環境】

→飯山の気候は四季では足りないほど多彩であり、季節の変化を愉しむ市民の暮らしを、美しい日本のふるさとの象徴であると誇りを持ち、100年後もあり続けるよう、様々なチャレンジをしていくまち

【主な関連キーワード】

- ・四季がはっきり（八節季）
- ・100年後のための10年
- ・雪と共生
- ・連れて行きたいと思える
- ・チャレンジへのサポート
- ・美しい日本のふるさとを守る

案3 洗練された田舎で一人ひとりが暮らしを愉しめる風通しのよいまち【生活環境】

→自然と市民の営みが調和する、洗練された田舎の風景を持つまちであり、多様な人々が自由闊達に語り合いながら暮らしを愉しむことができ、「行きたい、住みたい、住み続けたいまち」となって、移住・定住者、関係人口が増えていくまち

【主な関連キーワード】

- ・楽しい関係で地域をクリエイト
- ・定住のサポート
- ・「住みたいまち」から「住み続けたいまち」
- ・地元に対して愛着を持っている人を増やす
- ・持続可能な里山づくり
- ・関係人口の増加

2 基本目標案

テーマ：持続可能な環境・観光

- ・自然と市民がバランスよく調和し、共生する持続可能な環境に配慮したまち
- ・自然と市民がバランスよくそれぞれのステージで楽しみ、活躍できるまち

テーマ：ちょうどいい雪国での暮らし

- ・飯山での生活をそれぞれのステージで楽しみ、活躍するまち
- ・多様性を享受し、様々な交流を生み出すまち
- ・世界一安心して暮らせる雪国いいやま
- ・100年後もちょうどいい暮らしを愉しめるまち

テーマ：地域資源を活かした豊かな子育て環境

- ・未来の飯山を中心となる子どもたちを育てるまち

<参考> これまでの飯山市の総合計画

- 第1次総合計画 「住みよいふるさと園」（昭和48～57年度）
- 第2次総合計画 「自然と文化が調和するふるさと定住都市をめざして」（昭和58～平成4年度）
- 第3次総合計画 「ゆとり生むまち 新・生活実感都市をめざして」（平成5～14年度）
- 第4次総合計画 「輝け いいやま！ かえる宣言
～おらもやる あんたもやろうや いいやまづくり～」(平成15～24年度)
- 第5次総合計画 自然と共生する豊かな暮らし 「技と縁のまち 飯山」（平成25～令和4年度）

■説明

・自然との共生

飯山市の四季の美しさ・豊かな自然は、大都市では決して手に入れることのできない貴重な財産です。厳しくもかけがえのない自然環境を守りながら、飯山市の気候、地形、特性等を踏まえ、人と自然とが調和した快適で持続可能な豊かな暮らしを創出します。

・技を磨く

飯山市には素晴らしい地域資源や素材が豊富にあります。しかし、人の「技」がなければそこから価値を生み出すことはできません。地域の暮らしを支えてきた産業の技を更に磨くとともに、新しい活用技術にチャレンジし、新たな価値創造を目指すとともに「飯山のブランド」を全国に発信します。

・縁はぐくむ

人と人、人とモノ、地域と地域など、あらゆるつながりやネットワーク、関わり合いによって生み出される社会を取り巻く様々な動きを「縁（えにし）」と捉え、新幹線によって新たに結ばれる縁とともに、これまで先人が培ってきた地域で互いに支え合う縁をまちづくりの柱として更にはぐくみます。

地域や都市との連携、交流を進め、それぞれに特徴をもつ地域が相互に補完し合うことによって、「訪れたいまち、住み続けたいまち 飯山市」をつくります。